

ご使用に際しては、本添付文書をよくお読みください。

pTau タンパク-IBL 用 標準品・コントロールセット

【使用目的】

pTau タンパク-IBL の標準品・コントロール

【形状・構造等 (キットの構成)】

構成試薬名

- ① 標準品(ヒトリコンピナントリン酸化タウ蛋白)
- ② コントロールH
- ③ コントロールL

【用法・用量 (操作方法)】

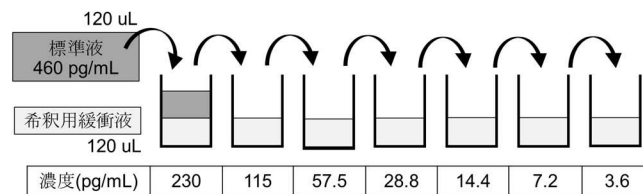
1) 標準品

希釈用緩衝液 (pTau タンパク-IBL の構成試薬) 0.5mL で溶解して使用します。

希釈用緩衝液 (pTau タンパク-IBL の構成試薬) 0.5mL で溶解した際のリン酸化タウ蛋白濃度がラベルに記載されています。

下図を参考に 2 倍連続希釈をして各濃度の標準液を調製してください。

図. 2 倍連続希釈の方法



2) コントロールH・L

* 希釈用緩衝液 (pTau タンパク-IBL の構成試薬) 1mL で溶解して、100µL をそのままウエルに添加します。希釈用緩衝液 (pTau タンパク-IBL の構成試薬) 1mL で溶解した際のリン酸化タウ蛋白濃度がラベルに記載されています。

【使用上又は取扱い上の注意】

* 1. 試薬の溶解方法

- (1) バイアル瓶を室内温度に戻してください。
- (2) アルミキャップを開封後、静かにゴム栓を開けてください。
- (3) 希釈用緩衝液 (pTau タンパク-IBL の構成試薬) を所定量加え、室内温度で 5 分間静置してください。
- (4) 以下の点に注意し、攪拌してください。
 ボルテックスの場合、溶液が泡立たないように、5 秒間、攪拌をおこなってください。
 ピペットの場合、バイアル瓶の内壁を洗うように 10 回ピペッティングをおこなってください。

2. 取扱い上 (危険防止) の注意

- (1) 試薬には防腐剤としてプロクリン 300 が含まれておりますので、皮膚等を刺激する場合があります。誤って目や口に入った場合、皮膚に付着した場合は速やかに水で十分に洗い流す等の応急措置をおこない、必要があれば医師の手当てを受けてください。

- (2) 試薬には動物由来の物質を含みます。誤って目や口に入った場合、皮膚に付着した場合は水で十分に洗い流す等の応急措置をおこない、必要があれば医師の手当てを受けてください。

3. 使用上の注意

- (1) 使用期限を過ぎた試薬は、測定値の信頼性を保証し兼ねますので使用しないでください。

* (2) 調製後の試薬は、保存せずに速やかに使用してください。

* (3) pTau タンパク-IBL 用の試薬です。

pTau タンパク-IBL と同一の製造番号のものをご使用ください。

4. 廃棄上の注意

- (1) 検体、検査に使用した器具類などを廃棄する前に、0.1%以上の次亜塩素酸ナトリウム溶液に 1 時間以上浸すか、又はオートクレーブ (121°C、20 分間以上) で処理してください。

- (2) 試薬及び器具等を廃棄する場合には、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、水質汚濁防止法等の規制に留意して処理してください。

- (3) 検体又は検体を含む溶液が飛散した場合は、感染を防止するために、0.1%以上の次亜塩素酸ナトリウム溶液等を用いてよく拭き取ってください。

【貯蔵方法・有効期間】

貯蔵方法：2~10°C、有効期間：製造後 13 ヶ月 (使用期限は外装に記載してあります。)

【包装単位】

製品コード：50172

製品名：pTau タンパク-IBL 用 標準品・コントロールセット

構成試薬名	包装
標準品	0.5 mL 用 × 2 (濃度はラベルに記載)
コントロールH	1 mL 用 × 2 (濃度はラベルに記載)
コントロールL	1 mL 用 × 2 (濃度はラベルに記載)

【問い合わせ先】

株式会社 免疫生物研究所 営業部
 〒375-0005 群馬県藤岡市中 1091-1
 電話番号：0274-50-8666
 FAX 番号：0274-23-6055
 E-mail：do-ibl@ibl-japan.co.jp

【製造販売元】



株式会社 免疫生物研究所
 群馬県藤岡市中 1091-1